

2017年6月23日 第3204回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 谷 会長

<斉 唱> 「我等の生業」

<ゲスト紹介> *通 訊 高 橋 栄 子 様

*元会員 真 壁 久 様

<会 長 報 告> *ガバナー事務所より

・2017～2018年度 地区ロータリー財団セミナー
及び第2回補助金管理セミナーのご案内について

日 時：7月15日(土) ① R財団セミナー 13:00～15:00

② 補助金管理セミナー 15:15～17:00

場 所：アイクロス湘南6階「E会議室」

<出 席 報 告> *出席委員会 澤田委員長より6月23日の出席率

会 員 数	出席対象者数	出 席 数	欠 席 数	メイクアップ数	出 席 率
110名	97名	61名	36名	3名	65.98%

<ニコニコ報告>

・NTT横須賀研究開発センタ 真壁 久 様

NTT横須賀通研の真壁久です。本年7月1日付で転勤する事となり、御挨拶に伺わせて頂きました。会員時含め本当にありがとうございました。

・加藤 勲、瀬 戸、田 邊、渡 邊、上 林、大 竹、澤 田、
岡 田、小林 勲、山 〃、齋藤 眞、長 尾、平 松、前 田、飯 塚 各会員

NTT横須賀研究開発センタ 真壁さんようこそ。

・三 役 本日、細則変更例会及びクラブ協議会にて、年度報告をいたします。御担当の皆様宜しくお願いいたします。

・猿 丸、信 木、福 西、齋藤 眞、石 田、鈴木 勲、薦 野、勝 間、根 岸、波 島 各会員
本年度各委員長さんご苦労さまでした。本日の最終報告よろしくお願ひします。

・井 莉 会員 各委員長様、1年間お世話になりました。ありがとうございました。

・北 村、齋藤 眞、八 巻 各会員 先日の日曜日、ローヌのおわかれ会、多数の方々にお集まり頂きありがとうございました。高橋仁子会員、お酒の差入れありがとうございました。

・明 野 会員 1番テーブルミーティング、欠席し失礼しました。

・丸 山 会員 何となく

・八 巻、北 村、澤 田、齋藤 眞、曾 我 各会員 写真をいただいて

<卓 話>

第4回クラブ協議会(年度報告)

1. 谷繁信会長

楽しくフレンドリーなクラブ運営を目指して一年前に会長に就任いたしました。越川副会長、山下幹事、物井SAA、事務局の三宅さんの絶大なご協力ご支援をいただきました。また理事役員、委員長の方々のお力添えをいただき、勿論、会員各位のご協力を得て何とか大過なく任期を全う出来たことを感謝しております。昨年の7月1日(金曜日)の第1例会、今年の6月30日(金曜日)で最終例会という巡り合わせで何となく一年間フルにロータリーライフを楽しんだ気がします。新造船による軍港クルーズ、昼間の平安閣での情報集会、新年第1例会での鏡開き、カップヌードルミュージアム見学実習、横浜スタジアムのDeNA対巨人戦観戦等、楽しく新しい催しが実行できました。それぞれの担当の方々の絶大なるご苦勞に感謝いたします。一年間の皆様のご協力、ご支援に感謝申しあげて会長としての報告といたします。

2. 平松廣司会計

収入に関して、ニコニコは会員の皆様のおかげをもちましてほぼ目標額に到達しそうです。しかしながら、入会者数及び会員数の減少により、収入が予算を下回ってしまいました。

支出については、昨年度と同様情報集会のうち一回及び最終例会を会費制にしたことにより本会計負担を減らすことができました。皆様のご協力に感謝いたします。

繰越金の減少がここ2年の傾向です、原因は会員数の減少にあると考えられ、会員数の増加が見込まれない場合は事業の見直しが必要と思われます。一年間ありがとうございました。

3. 物井宏介SAA

例会運営については、皆様のご協力で、大きなトラブルもなく、なごやかにできたと思います。三役と植田プログラム委員長に改めて感謝いたします。

ニコニコについては、数々の読み間違いにもかかわらず、目標額をほぼ達成出来ました。これはひとえに皆様の広く、温かい心ざしのたまものでございます。ありがとうございました。

いい加減な私がなんとか勤められましたも、小林副SAAの危機管理、現金管理能力の高さと事務局三宅さんの適切なアドバイス、微笑み、ささやかな歌声のおかげに他なりません。0番テーブルの仲間としての日々は、私の大切な財産となりました。例会初日の365日の紙ヒコーキは全員揃って聞くことはかないませんでした。きっと大河原さんにも届いていると思います。

最後に、いつもかいがいしく食事の準備をいただいた魚濫亭のスタッフの皆さんと大河原さんに、ありがとうございましたとごちそうさまでしたとお伝えして、ご報告とさせていただきます。どうもありがとうございました。

4. 越川昌光副会長兼クラブ管理運営委員会担当

副会長として、三役にて例会前の事前会合を綿密に行い、無事に一年間が経過しました。ただ残念なことは、会長不在がなく、一度も会長席に座れなかったことです。

クラブ管理運営委員会におきましては、鈴木之一会報委員長、瀬戸映男雑誌委員長、澤田菊江出席委員長、鈴木豊司親睦活動委員長、各委員長ともそれぞれの委員会で活躍され、私が余計な口出しをすることなく基本的には委員長の裁量に任せました。まずもって各委員長一年間ご苦労様でした。

5. 鈴木之一会報委員長

「わかりやすい」「読みやすい」をモットーに、3160番から始まった週報もあつという間に3203番を数えるまでになりました。当初より「なるべく簡潔に」ということで作業を進めて参りましたが、卓話者が伝えたい内容の濃さに端折れることはできず三宅さんには大変ご迷惑をおかけ致し、また週末の楽しい時間を割いてでの原稿興しにご協力頂いた会報担当者に支えられての一年でした。

皆様のご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

6. 瀬戸映男雑誌委員長

多くの記事の中から、すべてを紹介することはできませんが、今年度は、出来るだけロータリーのRI会長のメッセージや考え方を紹介することを中心に行いました。私自身は、なかなか触れ合うことのない、RIの理念や活動を少しでも知り得たかと思えます。実りある一年であったと思えます。

また、国内記事では、「友愛の広場」は、各地域のロータリアンの活動が紹介されており、その中から皆様の興味を持たれるもの、あるいは当クラブの関連記事などがあれば、紹介することに努めました。これからも「ロータリーの友」ともどもよろしくお願ひいたします。皆様方の多大なるご協力に心から感謝を申しあげ年度報告とさせていただきます。

7. 澤田菊江出席委員長

毎月の出席率を第1例会の際に報告させていただきました。各月の出席率は以下のとおりです。

7月：69.16%、8月：61.85%、9月：66.49%、10月：86.94%、11月：72.50%、12月71.65%、1月：71.31%、2月：70.00%、3月：74.75%、4月：86.50%、5月：73.69%、平均：73.18%でございました。一年間ご協力いただきありがとうございました。

8. 鈴木豊司親睦活動委員長

現在、新規参加されたエノラ会員、原田会員、女性会員4名を含む、総勢19名の親睦委員が一丸となり、頑張っています。

特に今年は新会員が多く、故に“フレッシュに例会を盛り上げる”をモットーに、例会入口での皆様へのご挨拶には少々こだわりました。皆様にもお感じ頂けた事と思います。

7月5日の夜間例会、12月16日のクリスマス家族例会では、“外部参加者にも楽しんで頂ける、内輪ウケにならない様、品よく楽しむ、少々大人しく”をコンセプトに企画したものの、思いのほか大いに盛り上がりました。

来週の最終例会の際まで、親睦委員 命がけで会を盛り上げたいと思います。

今期も残り一週間ですが、最終例会まで息切れせずに活動して参ります！

9. 植田 威プログラム委員長

会員の皆様が出席される例会がより魅力的で有意義な機会になるよう、谷会長、越川副会長、山下幹事のご支援・ご指導を賜りながら、また多くの会員の皆様の多大なご協力を頂きながら、プログラム委員会として例会の卓話の講演者の手配を進めて参りました。少しでも各月ごとの重点テーマにも合致した内容の卓話を企画したいと考えておりましたが、私の力不足から卓話者の方との日程調整等に手間取ってしまい、時機を逸してしまった企画もあり、大変申し訳なく思っておりお詫び申し上げます。私個人としましては、プログラム委員長を拝命し、とても研鑽になった一年であり、機会を頂いたことに心から感謝しております。至らない点が多々あったかと存じますが、一年間、ご協力頂きまして本当にありがとうございました。

10. 渡邊 鷹広報・公共イメージ委員長

今年度は、クラブの一大奉仕活動である10000メートルプロムナードクリーン作戦を通じての広報・公共イメージアップに力を注いでまいりました。地区公共イメージ委員会とも連携を図りながら各メディアへのプレスリリースを積極的に行いました。成果といたしましては、j:com 湘南、はまかせ新聞、タウンニュース、湘南よみうり新聞、神奈川新聞に当日の様子を取り上げていただくことができ、横須賀ロータリークラブの活動の一端を広くPRすることが出来たと感じております。今後につきましては、10000メートルクリーン作戦に限らず、横須賀ロータリークラブの魅力をより多く発信して、会員増強に繋がるよう、次年度鈴木豊司委員長にタスキをつなぎたいと思います。

11. 山田晴史IT委員長

とうとう一年間の報告をする時期がきました。ITに弱い私は、初めから越川副会長、山下幹事、物井SAA、前年度IT委員長で現、会報委員長の鈴木之一会員にお力を拝借し、できるだけ週報の掲載を早くしたり、入退会者の名簿をチェック修正したり、イベントの報告を掲載したりと地味に活動してきました。あまりにも地味すぎてホームページを充実するまでは出来ず、今考えると親睦委員長の力も拝借し、8月の合同例会や12月の年忘れ家族会などのビッグイベントは週報とは別にご報告をするべきだったのではと反省をしております。私は次年度、社会奉仕委員長として今年度齋藤秀人委員長が協力してくれたように報告書をきちんと提出したいと思います。

12. 飯塚進一郎ロータリー情報・研修委員長

本年度情報集会は、年当初の計画どおり1回目として規定審議会の変更点の説明を、後藤パストガバナーにお越しいただき分かりやすくお話いただきました。2回目は変更説明を踏まえて、横須賀ロータリーの細則をどうすべきか、会員のグループ討議をしました。

また、新会員については、私と吉田委員が手分けをして以前のように新会員事業所に出向きロータリーについて説明をしました。新会員セミナーは本年度第1グループで行ないましたので、クラブとしてはいたしませんでした。

13. 外木祥司職業分類委員長

今年度の職業分類の報告をさせていただきます。今年度入会者は7名です。そのうちメルキュールホテル横須賀の軍司会員が既に退会されております。前任者との交代では4名です。情報通信の加藤会員、旅行業の中村会員、ホテル業の猿丸会員、証券業の原田会員です。新規会員では信用金庫の吉田会員、エンジニアのエノラ会員の2名です。現時点では、充填業種が66業種、未充填が62業種残っておりますので、皆様のご紹介をいただければと思います。三役、理事の方々、また、会員の皆様、私を応援していただいております。誠にありがとうございました。

14. 前田長生会員選考委員長

今年度は、会員皆様のご協力により7名の推薦がありました。第2回クラブ協議会の中間報告以降、2名の新会員をお迎えいたしました。4月21日はメルキュールホテル軍司会員の後任で猿丸会員、6月2日には大和証券竹田会員の後任で原田会員が入会されました。一年間、慎重に審査・選考をさせていただき、7名とも人格・資質を十分に備え、例会に出席し協調性のある方と判断し、理事会に報告いたしました。新会員におかれましては、今後益々のご活躍を期待しております。又、会員皆様のご協力に感謝申しあげ、年度報告とさせていただきます。

15. 清水 格会員増強・会員維持委員長

会員50名以上のクラブは会員数を純増2名、という目標を地区で提唱され、当クラブは111名でスタートいたしました。本日まで転勤などによる退会者8名、入会者は7名と、私の力不足もあって残念ながら1名減の110名となり、会員増強には至りませんでした。しかし、皆様のご協力により、佐野ガバナーが言われた「会員の基盤を維持し拡大する」という活動がクラブ内で積極的に行われていると感じます。本年度、地区では「女性会員の増強のためのセミナー」が開催されました。当クラブの女性会員は新たに4名が加わり11名となり、先日、女性会員による会合が行われたと聞いております。

16. 岩瀬 厚職業奉仕委員長

9月に開催した場見学会では「軍港めぐり」に50名の会員／ご家族が乗船し、その後の昼食会にも70名の会員／ご家族にご出席いただきました。ご参加の皆様、ご手配下さいましたトライアングル鈴木会員に心よりお礼申し上げます。

職場体験学習は横須賀学院の「世の中の仕事・働く人々の姿を知る」という教育方針の下、1月25日から3日間、横須賀学院中学3年生を対象に行われました。会員企業30社のご協力をいただき31名が参加、無事終了することができました。また、3月17日の例会では生徒さん達に体験学習報告をしていただきました。

次年度以降も皆様の本活動に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。ありがとうございました。

17. 齋藤秀人社会奉仕委員長

社会奉仕委員会は、池上委員長をはじめ、(前)鈴木豊司社会奉仕委員長、谷会長、越川副会長、山下幹事、八巻理事、その他多くの方々のご協力のもと、3月12日(日)午前9時スタートで記念すべき第10回1万メートルプロムナードクリーン作戦が開催されました。

今年で第10回ということですが、天候による中止は過去にはございません。当日も晴天に恵まれ、すばらしい活動が出来たと思います。人数の内訳は、ロータリアン+ご家族+アクト(89名)、学生(引率)6校(299名)、明光高校も初参加いただきました。ボーイスカウト・ガールスカウト(226名)を含め記録的な600名を超える参加をいただきました。唯一の反省点といたしましては、コースに人数が多すぎて、ゴミがないという点です。これにつきましては次年度、山田晴史次年度社会奉仕委員長とよく打ち合

わせていきたいと思ひます。今年ハローターデー、財団100周年、新会員の集い等のイベントとの同時開催ということで、関係者の皆様方のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

18. 八木達也国際奉仕委員長

今年度はフランスからの留学生ロレーヌさんを受け入れたことで会員の皆様には大変お世話になりました。特にホストファミリーを受けて頂いた会員には大変なご負担をおかけしました。お蔭様で事故もなく、また大きな問題点もなく無事に過ごすことが出来ました。あと数日の滞在ですが最後までご協力をお願いいたします。

今後もロレーヌさんには日仏の友好関係に取り組んで頂くことを願っております。一年間ありがとうございました。

19. 齋藤眞且青少年奉仕委員長

青少年奉仕は次の時代、青少年育成の重要性から第五奉仕部門と呼ばれ、青少年交換、奨学生、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム、職業相談指導、ロータリー地域社会共同体、身体障害者の援助、各種野外活動などを通じて才能と熱意を呼び起こし、ロータリアンの奉仕と責任感を育てることを目的としています。我が横須賀ロータリークラブは、その規模の大きさからほとんどのプログラムに参画し、青少年育成に貢献してまいりました。

私自身もローターアクト委員会、米山奨学生のカウンセラー、交換留学生のホストファミリーと微力ですが青少年育成に参加させていただいてきました。これからもこの気持ちを持ち続けていきたいと思ひます。

20. 曾我宗光ローターアクト委員長

今年度、ローターアクトでは通常の例会以外の活動といたしましては、社会奉仕活動としての清掃活動、吉田市長による卓話、裁判の傍聴、また地区においてはスキー合宿合同ツアーへの参加、アクターズミーティングの企画実行を行なってまいりました。今年度は、会員5名で活動をしてまいりましたが、次年度は各方面からより会員増強のご協力をいただきまして、8名でスタートすることになりました。アクトの会員が他ではなし得ない、より貴重な経験を積めるよう小山委員長とともにサポートしていきたいと考えておりますので、今後ともローターアクトクラブを引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。

21. 高橋隆一インターアクト委員長

現在の高校生は社会奉仕や海外との交流に決して無関心ではありません。本年度もプロムナード清掃に多数の高校生の参加があり、各学校に於いてもいろいろな奉仕活動や地域の清掃活動等をたくさんしております。

アクトの活動としては、本年度も毎月第二土曜の地区への合同会議に出席、相模原・麻溝台高校での年次大会、厚木・七沢での一泊研修、台湾海外研修、10000mプロムナード清掃参加、等々普段の奉仕活動以外にも積極的に動いております。

6月1日には三浦学苑において横須賀、横須賀西クラブの今・次三役、関連委員、事務局の方々にお越し頂いてインターアクト例会を行いました。アクトが企画進行したので、参加された方々にご迷惑をお掛けしました。次年度の検討課題にしたいと思ひます。

来年度は、小山ローターアクト委員長と共にインターアクト委員会、ローターアクト委員会、青少年奉仕委員会の皆様のご協力を頂きながら、インターアクトクラブを活発にしたいと思っております。

22. 岡田英城ロータリー財団委員長

本年、ロータリー財団100周年を迎えました。この財団により世界で活躍する様々な人材をロータリーは輩出してきました。横須賀ロータリークラブも様々な財団学友を輩出しており、非常に嬉しいことに、次年度も矢島優さんがグローバル補助金・選考過程「疫病予防と治療」の分野でイギリス Liverpool School of Tropica Medicine 医学部医療専門学校に9月から進学されます。寄付活動におきましては、①会員1人200ドルの財団寄付、②会員1人40ドルのポリオ寄付活動、③ベネファクター認証1名、皆様のご協力のおかげで達成することが出来ました。

クラブとしては、年間300万円ほどの大きな金額になります。久保田会員を中心に行っているクラブのVTTプロジェクトである「口唇口蓋裂傷の治療と医療技術向上指導」への活動というように、横須賀ロータリークラブは寄付だけでなく様々な活動を行なっているということで、多方面から評価をいただいております。このような寄付から活動の流れが世界中の地域と地域のロータリアン同士が中心となって活動に生かされることは他の組織では出来ないことではないかと感じました。

23. 秋本義紀米山奨学委員長

・2016年5月

委員会活動計画を策定し、当クラブ会員に対し、関連行事参加、米山奨学事業への理解と寄付協力を要請。

・2016年7月16日

2780地区「米山学友会クリーンキャンペーン」に参加。

片瀬海岸東浜でクリーン作戦を展開したのち、バーベキューでの懇親を行った。

・2016年8月27日

辻堂で開催された2780地区の米山奨学セミナーに参加。また、カウンセラー研修会に陪席。

・2016年11月19日

秦野で開催された2780地区の米山学友会国際交流会に参加。学友や現役奨学生の手作りの郷土料理が振舞われた。

・2016年12月2日

当クラブの米山奨学生の朴熙泰さんが、定例会にて卓話。

・2017年2月19日

米山奨学生終了式に、当クラブの米山奨学生の朴熙泰さんが出席。

・2017年2月24日

当クラブ定例会において、委員会活動状況について中間報告を実施

今年度、当クラブからの米山記念奨学会への寄付金は、会員1人当たり41,201円となり、目標の2万円を上回りました。皆様のご理解・ご協力に深く感謝いたします。

24. 山下和男幹事

歴史と伝統を受け継ぐ横須賀ロータリークラブの幹事として、その歴史と伝統に汚点を残さないとの思いを胸にこの一年間私なりになんとか会務を運営して参りました。

谷会長は、会長就任にあたり、「全会員の和を基本に、会員相互の親睦を図り、全会員の積極的な参加による楽しいクラブの運営を目指します」と宣言されました。この谷会長のお考えを受けまして、会員の皆様が退会したくないクラブ、入会したくなるクラブと思えるような魅力あるクラブの運営を目標に幹事としての活動を行ってまいりました。そしてその魅力の発信のため、今年度よりクラブ週報をクラブホームページに掲載をし、さらにSNSを積極的に利用しクラブ行事のタイムリーな発信を行いました。また例会のスムーズな運営のため、毎週水曜日にクラブ三役が商工会議所に集まり、事務局の三宅さんと打ち合わせを行いました、お昼を食べながらのこの毎週の行事ももう無くなるかと思うと少し寂しいです。

色々な失敗も多々あり会員の皆様にはご迷惑かけっぱなしの一年でした。多くの反省点はございますが、その中でも一番の反省点は、私たちのクラブは本当にたくさんの活動を行っております、その個々の活動を上手にリンクさせることに、社会奉仕活動がさらに有意義にできたのではと考えております。インターアクト、ローターアクト、青少年交換学生受け入れ・送り出し、職業体験という青少年奉仕活動を積極的に行っているにもかかわらずそれぞれ個々の活動で終わってしまい、それぞれの活動をリンクして上手に活用していなかった事が慚愧に堪えません。うまくリンクすれば二倍三倍の効果があったらと私の発想力の不足、行動力のなさを反省しております。

最後に横須賀ロータリークラブ会員の皆様におかれましては、私のような未熟な者にこのような機会を与えてくださりありがとうございます。理事役員の皆様、各委員長の皆様、会員の皆様そして事務局の三宅様この一年間、本当に辛抱して下さってありがとうございます。皆様のご支援と寛容の心に感謝いたします。

<閉会・点鐘> 13:30 谷 会長

週報担当 信 木 啓 輔